

「南阿蘇村きらめきコンソーシアム」に支援金を助成 ～「南阿蘇村きらめきプロジェクト」を応援～



10月13日、南阿蘇村役場2階大会議室において、「南阿蘇村きらめきプロジェクト」の事業発表会並びに支援金の目録贈呈式が行われました。

2017年10月13日（南阿蘇村役場・2階大会議室）

地域の活性化支援

10月13日、南阿蘇村役場にて「南阿蘇村きらめきプロジェクト」の事業方針発表と、同プロジェクトへの支援金の目録贈呈式が行われた。助成は、キリングループが熊本県、日本財団と締結した「『復興応援 キリン絆プロジェクト』熊本支援」に関する包括支援協定に基づくもので、支援金額は1,000万円。

同プロジェクトは、南阿蘇村が策定した復興計画を基に、官民一体の組織「南阿蘇村きらめきコンソーシアム」※が進める。贈呈式に先だて行われた事業方針発表では、「水の生まれる郷“南阿蘇村”」としてブランド力強化を図るため、村の資源である“水”の魅力を磨くことや今後のブランディングの具体策などが説明された。今回の支援金は、水に関する調査やブランドロゴデザイン作成などのほか、水を活用した新商品の開発、村の情報発信などに活用される予定だ。またコンソーシアムでは、同月21日に南阿蘇村で開催される「あそのみなみのあきまつり」を、「水の生まれる郷“南阿蘇村”」を村内外に発信するキックオフの場と捉え、コンソーシアムの代表でもある同村の吉良清一村長が、“村長宣言”を行う。事業方針発表後に行なわれた贈呈式では、キリンビール株式会社 熊本支社長の安武直幸と公益財団法人 日本財団 経営企画部長の荻上健太郎様より、南阿蘇村きらめきコンソーシアム代表の吉良村長並びに同コンソーシアムの藤原建志様に目録が手渡された。

（但し書き）

※南阿蘇村がブランド力強化のために構成した組織。南阿蘇村村長を中心に、南阿蘇村 企画観光課、農政課、南阿蘇村内の第3セクター、(株)はくすい、(株)くぎの、(株)ちうようで構成されている。

コメント①

南阿蘇村 村長 南阿蘇村きらめきコンソーシアム 代表 吉良 清一 様

南阿蘇村は水資源に恵まれており、村のいたる所に湧水があります。今回の「南阿蘇村きらめきプロジェクト」は、村の財産である「水」に着目し、水を中心とした村づくりと地域の活性化を図ろうとする事業です。昨年の熊本地震の際、私たちが最も困ったのは水の確保でした。それほど水は生活する上で欠かせず、この貴重な資源を次世代に残すことは、大きな意味のあることだと考えます。今回、支援金を助成していただいたキリングroup様や日本財団様に感謝すると共に、プロジェクトに関わる皆様の力を結集して、「水の生まれる郷“南阿蘇村”」を村内外にしっかりとアピールしていきたいと思っております。



コメント②

南阿蘇村きらめきコンソーシアム (株)くぎの 藤原 建志 様

「南阿蘇村きらめきコンソーシアム」立ち上げに際しては、キリングroup様、日本財団様より多大な支援金に加え、様々なアドバイスもいただき、心より感謝申し上げます。今回のような多面的な活動に取り組むプロジェクトの場合、使用用途が限定される公的な補助金等は、なかなか活用できないこともあります。その意味で、「『復興応援 キリングroupプロジェクト』熊本支援」に基づく助成は大変ありがたく思っています。今後は、我々だけでなく、村民の皆さんにも知恵を出し合ってもらいながら、「水」に特化した南阿蘇村のブランド化をぜひとも成功させたいと思っております。



コメント③

南阿蘇村 企画観光課 課長 倉岡 英樹 様

南阿蘇村では、今年6月に「南阿蘇村きらめきプラン」という今後4カ年の基本的方針を策定しました。その中で、「環境」「暮らし」「活力」の3つの「K」をキーワードに各施策を進め、村の活性化をもたらそうというものです。「南阿蘇村きらめきプロジェクト」は、その一つ「環境」の中に掲げられている「水をテーマにしたまちづくり」を進める上で重要な位置付けとなるプロジェクトです。今後は事業主体となる「南阿蘇村きらめきコンソーシアム」を中心に、様々な企業、団体、大学などとも協働しながら、来年度の地域DMOへのシフトを目指して参ります。



コメント④

南阿蘇村 農政課 主幹 工藤 眞巳 様

コンソーシアムが中心となって進める「南阿蘇村きらめきプロジェクト」では、まず村内の湧水群、水源等の水質、歴史、特徴などを調査するほか、水を中心としたまちづくりの成功事例（北海道東川町）への視察研修を実施します。また、「南阿蘇村=水」を村内外に周知するためのイベント開催（あそのみなみのあきまつり）や水商品に関する市場調査、水を使った商品開発・加工・販売なども行います。さらに、村の魅力をSNS等で発信する際にブランドブック代わりとなるアプリの開発なども予定しています。これらの各種事業を通じて、「水の生まれる郷“南阿蘇村”」のブランド化を図っていきたくと考えています。



コメント⑤

麒麟ビール株式会社 熊本支社 支社長 安武 直幸

私は同じ阿蘇の高森町出身で、南阿蘇村の白川水源にも何度となく遊びに行っていたので、今回の「南阿蘇村きらめきプロジェクト」に対しては感慨深いものがあります。また、飲料メーカーである当グループにとっても非常に重要な「水」をテーマとしたプロジェクトというだけでなく、当グループのメルシャンが手掛ける焼酎「白水」には南阿蘇村の白川水源の水を使わせていただいています。今後もキリングループの様々な事業を通じて、村の豊かな水源の魅力を伝え、ブランド化に貢献できるよう努めて参ります。



コメント⑥

公益社団法人 日本財団 経営企画部長 荻上 健太郎 様

贈呈に当たり、「南阿蘇村きらめきプロジェクト」への応援の意味を込めて、3つのポイントをお話させていただきます。まず1つめに、このプロジェクトは「村づくりとブランドづくり」を掛け合わせた新たなチャンレジです。その際にもっとも大切なのは、「お客様の視点」を意識すること。2点目は、「村民が主役」であることを忘れないでほしいと思います。最後に今回のコンソーシアム設立は、村民一人一人が“主役”となって村の魅力を発信していく体制への第一歩であり、その先にある「地域 DMO」へのシフトのためにも、“オール南阿蘇村”で取り組んでいただくことを期待しています。



コメント⑦

熊本県 阿蘇地域振興局 局長 能登 哲也 様

阿蘇地域に対して、「復興応援 キリン絆プロジェクト」熊本支援」に基づき様々な支援を行っていただいているキリングループ様と日本財団様には、この場を借りて改めてお礼申し上げます。南阿蘇村をはじめとする阿蘇地域は、熊本地震からの復旧・復興に向けて懸命に取り組みを進めています。そうした一步一步が、地域再生につながると感じています。そうした中で、今回の「南阿蘇村きらめきコンソーシアム」への支援金助成は、その動きをさらに加速させ、南阿蘇村のみならず阿蘇地域にとっても大きな励みになると同時に、「南阿蘇村きらめきプロジェクト」の成功が、県の掲げる「創造的復興」につながるものと確信しています。

